



浜に供えられた「ツメの札」



わらで作られた「歳徳丸」



わら舟は火を付けて流します

鳥羽市の各町には、古いしきたりや祭り・行事が色濃く残っている地域があります。年頭には弓引きや獅子舞が行われる地区が多いのです

が、国崎町には「ノット正月」と呼ばれる正月送りの行事があります。毎年1月17日、女性らが浜に来ると適当な石を見つけ、その後方に「ツメの札」と呼ばれる札を立て、石には赤飯、なます、田作りなどを供え、海に向って手を合わせて海の神を祭ります。その後、持ち

寄ったわらを使って長さ1・8mほどのわら舟を作りま  
す。「歳徳丸」と書かれた紙製ののぼりを立てて、後方の舵部にわら人形を縛りつけます。完成させると、お神酒などをかけて火を付けて海へ流し、正月を治めます。  
一般的には、正月飾りやお札などを燃やす「どんと焼き」が一般的で、国崎のように舟で海へ送り出す行事は全国的にも珍しく、注目を集めています。  
この行事は、1月21日に「国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されました。  
鳥羽には貴重な伝統行事がたくさんあります。地元の人々の伝統をみんなで守っていきましよう。

## 鳥羽のお宝 再発見!



vol.25

教育委員会生涯学習課  
☎1268



## 男女の違い

vol.102

市民課人権・生活係  
☎1126

昨年12月に第3次男女共同参画基本計画が閣議決定されました。  
その中には「男女の社会における活動や個人の生き方が多様化する中で、男女の社会における活動の選択に対して中立的に働くような制度構築が必要である。その際、男性片働きを前提とした世帯単位の制度・慣行から個人単位の制度・慣行への移行、男女が共に仕事と家庭に関する責任を担える社会の構築といった視点が重要である。」と記されています。  
男女共同参画といえど、かく女性の社会への参画が強調されてきたイメージがありますが、社会へ出たくても、家事・育児・介護といった事分担当が男性と比べてまだまだ重いという現況はあるのではないのでしょうか。基本計画で

は、男性の家庭や地域などへの参画を促すことにも重点が置かれており、そのことが女性の社会参画への近道なのかもしれません。  
昨今のニュースなどでは暗い話題も多く、社会情勢が次々と変化していく中、多様な価値観が生まれています。そのような状況の中、仕事一筋で家族を経済的に支える事が充実した人生と考えるかたもいれば、ある人は家庭や地域との関わりに本当の豊かさを感じることもあるかと思えます。  
今回ご紹介した基本計画はわかりやすい内容で、内閣府のホームページでご覧いただけますので、興味を持たれたかたはご一読いただき、自分らしい幸せとは何かを前向きに考える機会とされてはいかがでしょうか。